

(様式3)

令和5年度 しまねの公民館次世代参画支援事業 実績報告書

市町村名	江津市	公民館等の名称	有福温泉地域コミュニティ交流センター
事業の目的	8歳から80歳までが共に楽しめるeスポーツ「ドローンファイト」を通して、次世代を担う青少年が主体的に活動できる場づくりを行い、多世代との交流を行いながら地域へと目を向けていく。		
事業の内容	○ターゲットとする世代 有福温泉町内の小中学生のいるファミリーや地元の団体		
	○地域の状況やターゲットにした理由 有福温泉町は、観光資源として約1370年前から続く有福温泉を保有する町である。しかしながら、人口300人弱、高齢化率50%の中山間地域であり、地域の様々な活動の担い手が不足している現状がある。 そんな中、昨年度からこの地区にインターンの大学生が関わり、地域の活性化を目指した取組を行っている。その大学生の発案で、この事業が誕生した。この大学生と地域住民、特に若い世代が繋がることで、地域の担い手となる若い世代が地域への関心を高めるきっかけの一つとなればと思い、町内の小中学生のいるファミリーや地元の団体を主な対象とした。		
	○事業の内容(日時、場所、参加者数、具体的な活動)を具体的にご記載ください。 『ドローンファイトとは、特殊なに取り付けた風船をミニドローンで割る競技』 ・ドローン体験の場づくり ① 各自治会サロンでの出張体験やドローンの貸出 ② 月1マルシェでの体験会 ③ センターでの体験、子供見守りの時間での体験 ・大会の開催 (場所：有福温泉地域コミュニティ交流センター) ① 第1回 夏休み親子大会(2023.8.16) 参加者12名 初めての大会でプレイヤーの後はスタッフへと子供たちも含め皆さんにご協力いただいた。 ② 第2回 シニア大会(2023.10.17) 参加者12名 参加者が高齢者のためスタッフ役をお願い出来ず大変だった。 操作が簡単で、指先を使うので脳トレにもなると楽しんでもらった。 ③ 第3回 冬季大会(2024.2.11) 参加者18名 実行委員を20~40代の若い世代にお願いし、ご協力を得て開催出来た。 ゲームも風船を上手に割れない初心者のために、スピードを競うゲームを取り入れ、工夫を凝らした大会が出来た。		



<p>成果と課題 今後の見通し</p>	<p>○期待する成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段あまり参画のない世代がセンター事業や地域活動へ関わるようになる。 ・地元の団体、マルシェ運営の県大生等にイベントの手伝いや取組に協力してもらうことで、対象者との繋がりが深まるとともに、対象者の意欲が高まる。 ・世代間交流を通して対象者と地域住民との繋がりが深まり、地域への関心が高まっていく。 ・プレイスポット登録をすることで、注目される持続可能な事業へ。(地域としての挑戦) <p>※現在中国地方で日本ドローンファイト協会に登録されているプレイスポットは山口県下関市のみとなっており、有福温泉地区が2つ目のプレイスポットとなれば、対象者を中心とした地域住民の自信、誇りにも繋がる上、新たな観光資源にもなり得る。</p>
	<p>○成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回大会では地域行事に参加した事のない保護者の参加、第3回大会では20代~40代が大会運営に参加と、期待していた若い世代に参加・参画いただけた。 ・地元の団体や有福で活動している大学生達に、体験会やイベントへの協力が得られた。 ・高齢者の反応が少し心配だったが、簡単な説明だけで直ぐにミニドローンは飛ばす事が出来るので本当に楽しんでくださった。 ・一つの大会で、幅広い世代が一緒になって「ドローンファイト」を楽しんで貰えた。   <p>○課題・今後の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は町内を対象としたイベントしか出来なかったが、島根県で最初にプレイスポット登録ができたので、町外への参加者募集や有福発信のオンライン大会なども含め幅広く「ドローンファイト」を広めていきたい。そして有福温泉の知名度向上につなげ、新しい観光資源になればと思う。 ・今後も「ドローンファイト」を通して、次世代が活躍できるようにバックアップしていきたい。 ・今回の補助金で購入したミニドローンは町民で大切に使い、来年度からもこの事業を継続していく。